

ローテーション道徳

ローテーション道徳は、一人の教師が一つの題材を用いて2つのクラスで授業をすることで教師の指導力向上をねらいとしています。各学期に1回ずつ行い、授業の様子を学年だよりで保護者に伝えていきます。

～ ローテーション道徳の流れ ～

【教師 A】

- ①題材を決め、指導案を作成する。
- ②指導案をもとに、学年内で授業内容を検討する。
- ③1回目の授業を行う。
- ④授業後、学年で授業検討会をし、改善点を話し合う。
- ⑤2回目の授業を行う。
- ⑥授業後、学年で授業検討会をし、改善点を話し合う。
- ⑦指導案や掲示物、ワークシートなどを学年で保管する。

【教師 B】

- ①教師 A とともに授業について検討する。
- ②2回の授業を参観し、学年で検討する。
- ③授業の様子を学年だよりにて保護者に伝える。

☆ 教師 A と B の立場をローテーション(入れ替え)て別の教材で実施する。

学年だよりから抜粋

～1学期の道徳の様子～

道徳 「ロレンゾの友達」友情・信頼 6東:5月18日 6西:5月12日
悪い噂を聞いて悩む主人公たちの姿を通して、友達を信じるとはどういうことかを考えさせ、真の友情とは何かについて考えました。

☆児童の感想☆

- ・友達を信じること、友達のために行動することです。ずっと疑っていたらおたがいが信じあえないからです。
- ・けんかしても話し合いをして仲直りできる友達でいたい。
- ・どれだけかわいそうでもダメなことをそのままにしたら、相手をもっと悲しい思いをするから、ダメなことはダメと言える友達になる。



道徳 「海のゆりかご-アマモの再生」自然環境 6東:5月23日 6西:5月26日

1時間目は岡山の海を守る活動を取り上げ、一人一人が自然を大切にする活動していくことの大切さについて考えました。2時間目では地域でボランティア活動をしている竹原幸子さんをゲストティーチャーとして招きました。竹原さんの活動を通して自分自身の生活を振り返り、できることがあることに気づききっかけになりました。

☆児童の感想☆

- ・いきなり大きく活動するのは難しいから、ごみを見つけたら拾ってごみ箱に捨てるなど自分にできることをする。
- ・団体でなくても、かげで自然や生き物を助けたい。
- ・自分はまだ何も知らないから、自然を守る活動を調べてみたい。

